

ダクラク省ラク県クロンノー村レーヴァンタム小学校建設計画・引渡し式典

2014年4月25日

2014年3月13日（木）、日本政府による対ベトナム草の根・人間の安全保障無償資金協力「ダクラク省ラク県クロンノー村レーヴァンタム小学校建設計画」（2011年度実施）の引渡し式典が、矢ヶ部義則・在ホーチミン日本国総領事館首席領事、ラク県人民委員会 カオ・スアン・サオ副委員長、ラク県教育訓練室 ブイ・クアン・リエン室長、クロンノー村共産党委員会 イ・マン・ロ・ルック書記長、レーヴァンタム小学校 イ・ティ・ニエ校長出席の下、レーヴァンタム小学校（被供与団体）において執り行われました。

レーヴァンタム小学校は、クロンノー村の6集落の児童が勉強するための非常に重要な教育機関ですが、同校は教室不足により、集落の集会所3ヶ所を分校として借り、2部制の授業を行っていました。しかし、同3集会所は元々教育施設ではないため、職員室、トイレ、運動場がないなど、教育環境は十分ではありませんでした。本件は約103,448米ドルの資金協力を通じて、レーヴァンタム学校に5教室を有する校舎1棟、校長室1室を有する建物1棟、2部屋を有する教員用寄宿舍1棟、トイレ、校門、井戸を建設しました。また、貯水タンクの設置やコンクリート舗装の整備もしました。

式典において、矢ヶ部義則首席領事は、「全校の教師及び生徒を含めた約127名に安全で快適な教育環境を提供することができれば幸いです。本件を通じて整備された校舎が日本とベトナムとの友好のシンボルとなることを祈念致します。」と述べました。これに対し、サオ副委員長は、「在ホーチミン日本国総領事館のご支援に心から感謝申し上げます。本件が末永く効果をもたらすよう、クロンノー村人民委員会、教育訓練室、レーヴァンタム小学校には適切な維持管理に努めて頂きたいと思います。」と感謝の意を表明しました。



スピーチを行う矢ヶ部義則首席領事



テープカットの様子



日本が支援したことを示すプレート



本件で整備された5教室を有する校舎